

ここまでこれたのは

佐藤 彩乃

私が千葉中央に出会ったのは、2年生の夏休みでした。お母さんがバレーボールをやっていたため、小さい頃からバレーボールが大好きでした。学校にバレー教室の手紙がきて、会場が三小だったのでいってみました。はんなとりべかちゃんとしよしのの4人でいきました。先輩方に大好きなバレーボールを優しく教えてもらいました。

それから半年後の3年の4月に、りべかちゃんと一緒に入部しました。Bチーム基礎からしっかり教えてもらいました。初めての合宿では、ご飯を食べるのが遅くて苦労しました。練習では、初めて監督のワンマンをしました。練習試合もしました。

そして、初めての大会は12月でした。肩の力が弱く、まだ、サーブが入りませんでした。当日横サーブに変えました。一本目はよく入ったけど、その次には、思い出に残る空振りをしました。あの瞬間は、まだ忘れられません。そして、4年生になってからAチームに入りました。練習は、Bチームでもやっていたけれど、大会は「12」を背番号につけていれさせてもらいました。その時は監督に「勉強しておけ」と言われました。始めは何のことも分からなかったけどだんだん分かるようになってきました。

そして、初めての行進をしたのは関東大会でした。一番最後で後ろに誰もいなかったのでも緊張しました。私が5年になる時は、はんなと二人しかいませんでした。それなのに、はんなは「辞める」という言葉を私に言いました。はんなが辞めると、私は一人になっちゃうと思い、なんとか説得しました。5年生になってから、レギュラーに入り、全国大会に行きたいと強く思いました。6年生と全国大会に行きたいと思い必死でした。でも、皆に追いつけなくて苦しい時もありました。しかし、必死にやって良かったなと、思いました。夢が叶って東京体育館で試合をしたことは身になりました。関東大会でもサンダースから1セット取れてうれしかったです。スポ少全国は、震災の影響で大会が無くなり残念でした。

そして、自分の代になって最初の大会、新人戦では1回戦負けのベスト36。この悔しさをバネに挑んだ全国県予選ベスト16。まだ良い成績が残せず悩みながら迎えたスポ少関東大会3位。思いとは違っていました。また、ベスト8位で終わるのではないかと考えていました。まだ優勝出来ず絶対に必死だった。関東大会県大会、これもベスト8で終わりました。本当にラスト1回の試合、スポ少全国では絶対に優勝したかったです。前日からかずさホテルに泊まりました。練習もいっぱいしました。明日はどうなるのかと、楽しみでした。でも、明日負けたら、私達もう終わり。そう考えると苦しかったです。そして夜も、なかなか眠れませんでした。朝起きてから、私達は、最初に6年の顔を一人につき1回ずつピンタをしました。朝からご飯もいっぱい食べました。行進はうまくいきました。決勝トーナメント一回戦の相手は坪井でした。センターのアタックをしつかりコースに入って拾いました。

2回戦目は薬南でした。関東大会ではいい試合が出来ず終わりましたが、スポ少では絶対に勝とうと思ってました。観客席の上で相手の攻撃を観察してから、下に降りてくると、なんだか

勝てそうに思えてきました。試合が始まってからは、みんな必死でした。私達は、先にサーブを取りました。私は、バックライトでレフトの子のストレートを必死に拾いました。サーブカットもいつもよりうまく取れました。それは、練習の時に監督から「横から見てみる。」というアドバイスのおかげだと思ってます。サーブはセンターに打ってしまい、速攻をやられてしまいました。でも、そこでブロッカーがよくとめてくれました。でも1セット目は21-16で負けてしまい、必ず勝つ気持ちが少し抜けた気がしました。でもそれではダメだと思い、自分に言い聞かせました。2セット目はサーブカットからでした。絶対に勝つという気持ちがだんだんわいてきて、みんなでつなげました。監督、コーチからのアドバイスもしっかり聞いて出来るように、頑張りました。追いついては離されて、この繰り返しでした。その時「奇跡でもいいから、勝たせて！」と思いました。でも、21-16で負けました。とても悔しかったです。5年生には「ありがとう」の気持ちがいっぱい、試合に出られなかった、はんなとあみには「ごめんね」の気持ちでいっぱいでした。

こんなに良い経験が出来たのは、良い環境で練習をさせてくれた保護者や、小さい時から育ててくれた指導者や、いつも送り迎えをしてくれた親や、ボール拾いや応援をしてくれたベンチの人、低学年、それと一緒にプレーをしてくれた仲間のおかげだと思います。

千葉中央に入って、私はプレーだけじゃなく、社会の事についてもよく知れました。他のチームの人とも友達を作れたりして、苦しい時もあったけど楽しい時の方が多かったです。私はもう卒業だけど、中学・高校とバレーを続け、注目の選手になれるように頑張ります。皆は全国大会目指して頑張ってください。

ここまでこれたのは、皆さんのおかげです。本当に今までありがとうございました。